令和５年　第８回別海町教育委員会議　会議録

１　開催日時　　令和５年７月１９日（水）
１０時００分から１０時３０分まで

２　開催場所　　別海町役場４階第２委員会室

３　出 席 者　（５名）

教育長	相　澤　　　要
教育委員	大　塚　保　男
教育委員	鈴　木　桃　子
教育委員	森　野　志　保
教育委員	石　川　貴　工

４　出席職員　（１５名）

教育部長	宮　本　栄　一
指導主幹	稲　村　和　典
指導参事	吉光寺　勝　己
学務・スポーツ課長	齋　藤　　　陽
学務・スポーツ課主幹	恒　川　敦　史
学務・スポーツ課主幹	髙　津　寛　人
学務・スポーツ課主査	武　田　文　吉
学校教育課長	池　田　卓　也
学校教育課主幹	堀　込　美　穂
学校教育課主査	高　橋　美　香
生涯学習センター長	福　原　義　人
給食センター主幹	平　下　奈津子
西公民館長	小　村　　　茂
東公民館長	大　坂　恒　夫
図書館長	堺　　　　　啓

５　議事日程　　議案第１号　別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書の提出について

－【開　会】－

教育長（相澤要君）

ただいまから、令和５年第８回の別海町教育委員会議を開会いたします。

本日の出席者は５名です。

別海町教育委員会会議規則第５条の定足数に達しておりますので、会議の成立を宣言いたします。

開会にあたり、私から一言ご挨拶申し上げます。

本日はお忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

各学校・各園の大きな行事の一つ、運動会、体育祭が終了しました。

一部、天候やグランドコンディションの関係で延期したところもありましたが、おおむね順調に行われました。

午前日程ということで種目の数は精選されましたが、参観者の数や声援の大きさは、完全にコロナ前に戻っているように感じました。

子どもたちが、競技に一生懸命取り組んでいたのはもちろんですが、並んだり移動したりする時も整然としており、日ごろの指導の様子を窺うことができました。

さて、早いもので２２日から町内の学校は夏休みに入ります。

子どもたち一人一人が１学期の成長を実感するとともに、事故なく充実した夏休みを過ごしてほしいと思います。

本日の夕方には根室管内の中体連を勝ち抜き、夏休みに行われる全道大会に出場する中学生３０名が訪問してくれます。暑さに負けないで活躍してくれることを願っています。

教育委員の皆様には、７月３日から始まった学校訪問に出席していただいておりますが、明日からは札幌市で行われる全道の教育委員会研修会にも参加していただくことになっております。

忙しいところ申し訳ございませんが、よろしくお願いいたします。

それでは、本日の日程に入ります。

本日は報告のほかに、議案が１件ございます。

よろしくお願いいたします。

－【前回会議録の承認】－

教育長（相澤要君）

それでは日程第２前回会議録の承認に入ります。

令和５年第７回の会議録につきまして、事前に委員の皆様に事務局から送付しておりますので、訂正御意見等がありましたら発言をお願いしたいと思います。

何かありませんでしょうか。

（「なし」の声あり）

教育長（相澤要君）　なければ承認することとしてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

教育長（相澤要君）　それでは、第７回の会議録について承認することといたします。

－【報　告】－

教育長（相澤要君）　次に、日程第３報告に入ります。

６月１３日に開催をいたしました第７回教育委員会議から本日までの行事や実施事業等について事務局報告をお願いいたします。

教育部長（宮本栄一君）　それでは、６月１３日開催の第７回教育委員会議以降、本日までの主な行事や実施事業等について配布の資料により御報告いたします。

６月１３日に別海町文化財保護審議会が開催され、教育長と関係職員が出席しています。

６月１４日に中西別学校区コミュニティ・スクール学校運営協議会より地域説明会の結果報告を受けております。

６月１５日に第２回定例教頭会議が開催され、教育長と関係職員が出席しております。

６月１５日に別海中央学校区コミュニティ・スクール学校運営協議会が開催され、教育長と関係職員が出席しております。

６月１６日に学校経営指導訪問が開催され、教育長と関係職員が出席をしております。

６月１６日、第４回全員協議会が開催され、教育長と関係職員が出席しております。

６月１９日、第２回別海町議会定例会が開催され、教育長と関係職員が出席をしております。

６月２６日、教科用図書採択教育委員会協議会が開催され、教育長と関係職員が出席しております。

６月２９日に中西別学校区学校運営協議会から統合に係る要望書の提出がありました。

内容につきましては、本日のその他で詳細について御説明したいと考えております。

同日、第４回定例校長会議が開催され、教育長と関係職員が出席しております。

７月３日、６日、１４日に教育委員学校訪問を行い、教育長、各教育委員及び関係職員が各学校を訪問しております。

７月６日に教科書調査委員会が開催され、教育長と関係職員が出席しております。

７月７日に第３回定例教頭会議が開催され、教育長と関係職員が出席しております。

同日、別海陸上少年団の全道大会出場報告の表敬訪問が行われました。

７月８日、別海町陸上フェスティバルが開催され、教育長が出席しております。

７月１１日、保幼小交流会が開催され、教育長と関係職員が出席しております。

一つ飛ばしまして７月１４日、令和５年度第２回根室管内市町教育委員会教育長会議が開催され、教育長が出席しております。

同日、令和５年度根室管内公立小中学校教職員人事推進会議が開催され、教育長が出席しております。

同じくスポーツ推進委員会が開催され、教育長、関係職員が出席しております。

７月１８日、白糠町教育委員会の視察に、教育長と関係職員が対応しております。

本日、第８回教育委員会議の開催となっております。

以上です。

－【議　事】－

教育長（相澤要君）

それでは、これから日程第４議事に入ります。

はじめに、議案第１号別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書の提出についてを議題といたします。

事務局説明をお願いします。

学務・スポーツ課主幹（髙津寛人君）

議案第１号について説明いたします。

議案書１ページをお開きください。

議案第１号別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書の提出について、別海町教育事務執行の点検評価等に関する規程第３条第３項の規定により、別紙のとおり点検評価委員に提出する。

本議案は、別冊でお渡ししている令和５年度別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書について、６月１３日開催の第７回教育委員会議で決定した点検評価委員に提出するものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条第１項で、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならないと定められています。

また、同条第２項では、教育委員会は前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

今後は、点検評価委員の棚橋昌博氏、下地哲氏に点検評価を行っていただき、その後作成する評価報告書を議会に提出するとともに公表する予定です。

次に、別冊の令和５年度別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書をご覧ください。

この後は、各担当から概要等を説明させていただきます。

まずは私の方から、学務・スポーツ課総務担当分について説明させていただきます。

資料の学務・スポーツ課総務の１ページをお開きください。

１ページは北海道別海高等学校教育支援事業になります。

令和４年度については事業の見直しを行っており、新１年生を対象としたタブレット購入助成事業を新設、通信衛星授業補助の進学対策支援ｅ－ラーニング受講を廃止としていますが、例年どおり通学費助成、寄宿施設の助成などを実施しており評価はＡとしています。

２ページをお開きください。２ページは教師用指導書等購入事業となっており、令和４年度に購入実績はありませんが、小学校教師用指導書は令和５年度、中学校教師用指導書は令和６年度に教科書の改定と併せて購入する予定としています。

３ページをご覧ください。

小中学校記念事業について、令和４年度の実績はありませんが、令和５年度に上西春別中学校統合５０周年記念事業の実施を予定しております。

学務・スポーツ課総務担当分は以上です。

学務・スポーツ課主査（武田文吉君）

続きまして、学務・スポーツ課学校施設担当の１ページからになります。

学校施設担当分の主な事業実施概要について説明いたします。

学務・スポーツ課学校施設担当１ページから２ページになります、小学校、中学校教育用コンピュータ整備事業につきましては、ＧＩＧＡスクール構想の円滑な推進を図るため、町内全域に光回線が整備され、光サービス未提供エリアの学校に光回線の引込みを行うことから、旧規格となっている学校内のネットワーク機器を更新し、安定したネットワーク環境を構築しました。

また、ＧＩＧＡスクールや各種システムの総合窓口であるスクー

ルウェアシステムの機能を拡充するとともに、校内以外での使用を考慮し、モバイル等の各種デバイスに対応する改修を新型コロナウィルス感染症対応地方創成臨時交付金事業を活用し実施しています。

４ページ以降の施設関係になりますが、４つの小・中学校において、地絡事故等の発生の危険性が高い１９９０年代に設置されている高圧気中負荷開閉器の更新を、北方領土隣接地域振興等事業推進費補助金を活用し実施しています。

また、建設から４６年が経過し、別海町学校施設長寿命化計画において優先的な施設更新を計画している別海中央小学校について、別海町の目指す教育環境や近年の学校建築の傾向を鑑み、主に施設計画の面から現段階の問題点と解決の方向性を検討するため、別海中央小学校改修工事基本構想を策定しました。

その他、各学校施設におきまして各種保守点検や小規模修繕を実施しています。

最後になりますが、評価については、すべての事業、実施済みとして、〇を付しています。

以上で学校施設担当の概要説明を終わります。

学務・スポーツ課主幹（恒川敦史君）

続きまして、学務・スポーツ課スポーツ推進担当分について説明いたします。

学務スポーツ課スポーツ推進担当１ページから１４ページまでとなります。

評価の内訳につきましては、A評価が５事業、B評価が４事業、補助及び施設の整備が７事業となっておりますが、この内、抜粋して２事業について説明させていただきます。

まず、学務スポーツ課スポーツ推進担当５ページをお開きください。

チャレンジスケート教室及び巡回スケート教室になりますが、本事業につきましては、冬期間の体力づくりとスケートの魅力を再発見してもらうことを目的として行っている事業ですが、前年度は新型コロナウィルス感染症拡大の影響により目標数値を達成することができず、C評価としましたが、令和４年度は目標を達成することができましたのでA評価としています。

次に、６ページをお開きください。

別海町パイロットマラソンの充実です。

令和２年度、３年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため２年連続中止としていましたが、令和４年度は目標の数値を達成するこ

とはできませんでしたが、３年ぶりに開催をすることはできましたのでＢ評価としています。

なお、今年度もすでに開催することが決定しており、現在はエントリーを受け付けている状況となっております。

以上で学務・スポーツ課スポーツ推進担当分の説明を終わります。

学校教育課主幹（堀込美穂君）

それでは、学校教育課分について説明いたします。

学校教育・適正化等担当分につきましては、学校教育課１ページから３ページの６事業、教育支援担当分につきましては、学校教育課４ページ、５ページの３事業となります

この中から、今回は学校教育課１ページ上段の外国青年招致事業、３ページ上段の Let'sChallenge 学習支援事業、５ページのスクールバス購入事業について説明いたします。

両担当分を一括で説明します。

はじめに外国青年招致事業です。

資料１ページをお開き願います。

本事業は、基礎基本の習得と生きた英語に触れ、国際感覚を培うことを目的とし、英語指導助手ＡＬＴを各小中学校へ派遣しています。

新型コロナウイルス感染症流行の影響で、来日が遅れていた新規ＡＬＴが、令和４年３月及び４月に来日し４名体制で町内小中学校１６校の訪問を、概ね計画通りに行うことからＡ評価としています。

また、令和４年度には公立幼稚園３園への訪問も試行し、令和５年度から正式に始動しています。

次に、Let'sChallenge 学習支援事業です。

資料３ページをお開き願います。本事業は、子育て支援の充実のための保護者負担軽減、加えて、町内児童生徒の自律的な学びの育成を図ることを目的として、漢字、算数・数学、英語検定の検定料の助成を行っています。

また、令和４年度から、国語、算数・数学、英語のタブレットドリルを導入しています。

評価指標は、受検者数の実績によるものとし、令和４年度については目標値１，０００名に対し、６０１名の受検があり、目標を下回ったことからＢ評価としています。

これは、新型コロナウイルス感染症流行拡大による休校等で受検ができなかったことや、感染の不安から受検を控えたことによるものと考えています。

次に、スクールバス購入事業です。

資料５ページをお開き願います。

町のスクールバスについては、現在中型バス１０台、マイクロバス１２台の計２２台で運行しており、経過年数や走行距離、車体の劣化度合により毎年１台から２台更新することとして計画しています。

令和４年度は、現在の保有台数から年間１台の更新では２０年間での更新が困難なことから、計画を前倒しし、中西別地区の中型バス１台及び中央地区のマイクロバス１台を更新し、通学対策の安定を図っていることから、評価を○としています。

なお、令和５年度については、１台更新することとして購入手続きを進めています。

学校教育課の説明は以上です。

生涯学習センター長
（福原義人君）

つづきまして、生涯学習課の事業実績について説明させていただきます。

掲載のある２５事業の内、令和４年度に実施した事業は１８事業となっております。

掲載事業数との差異については、そもそも令和４年度に実施予定のない３事業があることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響や悪天候等により中止となった事業が３事業、先送りになった事業が１事業あったことによります。

実施した事業の各評価は、A評価が５事業、B評価が７事業、C評価が６事業となっております。

主な取組として、生涯学習課１ページ下段の生涯学習関係情報提供事業において、昨年度生涯学習センター建設と同時に配置したデジタルサイネージを活用し、来館者に対し各種情報の周知を行いました。

また、3ページ下段の学校・家庭・地域の連携協力事業ですが、別海型コミュニティースクールと関連した取組として、学校・家庭・地域をつなげるコーディネーターの配置や、放課後子供教室の実施など地域における連携・活動を活性化させることを目的に、令和３年度から新規事業として実施しています。

中でも、放課後子ども教室については、既に開設している尾岱沼、中西別に続き上風連地区で試験実施や、上春別地区での検討を進めました。

以上で生涯学習担当の説明を終わります。

給食センター主幹
（平下奈津子君）

続きまして、学校給食センターです。

給食センターの１ページをお開きください。

給食センター運営経費賄材料費です。

令和４年度は、物価高騰等により食材の値上がりがありましたが、

多くの新メニューや行事食メニューを提供できるように努め、日本の伝統的な食文化の継承につながるような献立に工夫をしております。

また、町内産の食材を２種類以上使用したべつかい給食を３回実施しています。

食材の値上がりにより賄材料費で購入した町内産食材は約１５．２６％と使用率は伸びておりませんが、多くの町内産を使用するように努め、町内産のバターや牛乳、ホタテを使用したメニューを数多く取り入れ工夫しております。

学校における食育の推進を図る観点から、学校給食を活用した食に関する指導を効果的に行えるように、学校給食の食事内容の充実に努めております。

以上です。

中央公民館長
（福原義人君）

続きまして、中央公民館の令和４年度事業実績報告について御説明いたします。

委員各位ご承知の通り、令和４年度から生涯学習センター内に配置され、従前同様の事業に加え、新たな学習展開を行うとともに、新型コロナウイルスの影響等により規模縮小、あるいは未実施なものがあったことも予め御承知おきいただきたいと思います。

令和４年度は、ソフト事業が２２事業、ハード事業が１事業、合計２３事業中、A評価７事業、B評価６事業、C評価５事業、E評価１事業、評価できないものが３事業となっています。

中央公民館３ページをお開き願います。

下段にあります公民館各種利用サービスの促進について御説明いたします。

先にも述べましたが、生涯学習センターの供用が開始され、来館者、利用者がスムーズに利用できるよう迅速な移行と町民等が居心地の良さを感じる空間づくりに心がけ、縷々、情報の提供、条件の整備等を図った結果、目標値には達成していなかったことからＢ評価としています。

利用者数は対前年度比約２倍の３４，６９１人となりました。

学校行事での利用をはじめ、町内外から来館者、新たな利用団体が増えたことが要因と考えています。

また、公共施設予約サービスも運用開始したことにより、インターネットからの予約申請が可能となったことも要因の一つと考えています。

今後も、リクエスト講座や成人講座、少年事業、または高齢者事業

においても、更なる創意と工夫をもって、当館、生涯学習センターを運用し、利用促進に努めて参りたいと考えています。

以上で、中央公民館所管分の内容説明を終わります。

西公民館長
（小村茂君）

続きまして、令和４年度西公民館事業の実績報告についてご説明申し上げます。

令和４年度は、１９のソフト事業を展開し実施後の評価につきましてはA評価が１２事業、B評価が７事業、感染症拡大防止のために事業の実施ができなかったものが１事業という結果でありますが、令和３年度に比べ事業の実施回数は増加しております。

特に、西公民館３ページにある公民館利用サービス促進事業では、コロナウイルス感染症拡大に伴う社会情勢を勘案し、西公民館利用者数の目標値を、前年度実績を元に低く設定していたところですが、感染症対策を十分に行い利用促進を図るように取り組んだことで、コロナ渦前の半分の利用者数でありますが、目標値を上回る利用状況となっております。

このように、令和４年度もコロナウイルス感染症拡大の影響はありましたが、事業内容において屋外での開催を積極的に行うことや、感染状況の把握によって開催時期の検討やオンラインでの開催等の開催方法の工夫を行い、多くの事業を実施することができました。

今後も、西公民館事業の実施にあたっては、開催方法の工夫や住民ニーズの把握に務め、可能な限り地域の方やサークル等と協力することで西公民館へ足を運んでいただける魅力のある事業を展開していきたいと考えております。

なお、詳細な事業内容につきましては資料にて御確認いただければと思います。

以上で西公民館の説明を終わります。

東公民館長
（大坂恒夫君）

続きまして、令和４年度東公民館事業実績報告を説明いたします。

令和４年度については、計１７件のアクションプログラムがございまして、ソフト事業に１６件、ハード事業に１件となってございます。

その中でも１０ページをお開き願います。

芸術文化鑑賞事業ですが、コロナ禍が長引く中で、地域を元気づけようと文化祭実行委員会が中心となり、尾岱沼地区では２８年ぶりとなる打ち上げ花火大会を開催することができました。

各評価につきましては、ソフト事業では、A評価が１１事業、B評価が１事業、C評価が１事業、昨年同様、新型コロナウイルスの影響により中止せざる得なかった事業が３事業となっております。

なお、ハード事業の１事業は、評価なしとなってございます。
以上で東公民館の説明を終わります。

図書館長
（堺啓君）

図書館の実績報告について説明いたします。
令和４年度は、計２２件のアクションプログラムがあり、うちソフト事業１６件につきましては、A評価が９件、B評価２件、C評価３件、評価なしが２件です。
また、ハード事業は６事業すべてが〇となっています。
新たに実施した事業はありませんので、実績が変動した事業について説明します。
図書館１ページ夏休み手芸教室です。新型コロナウイルス感染防止のため、２年間事業を中止としていましたが、令和４年度は募集人数を定員１６名で募集して実施しました。
申し込みは９名でしたが、当日２名欠席したため７名での実施となりました。評価はB評価としています。
続きまして図書館３ページ上段の古本市支援です。
こちらも新型コロナウイルス感染防止のため事業中止としていましたが、令和４年度は混雑を避けるため火曜日からの実施として、通常よりも日程を伸ばし、本のジャンルも絞っての実施となりました。
１０月と３月の２回の実施でしたが、それなりに集客することができました。
評価はA評価としています。
令和４年度郷土資料館の実績報告について、はじめに業務担当分について説明します。
業務担当分は、１６件の事業がありソフト事業１５件、ハード事業１件となっています。
ソフト事業１５件につきましては、A評価が８件、B評価が６件、C評価が１件です。
内容につきましては、施設の一般公開や教育普及事業、収集所蔵資料の整備と調査研究についての項目であり、おおむね当初の目標を達成しているものと判断しております。
教育普及に関わる事業については、１件の事業を中止しましたが、その他の事業につきましては、参加者数を減らしての開催となっております。
つづいて文化財担当分ですが、８事業のうち、A評価が３件、B評価が４件、D評価が１件です。
このうち、宮舞町湿原保護事業につきましては、当初目指していた湿原の町有地化が達成できなかったためD評価としておりますが、

ムセンスゲの自生する湿原の一部については当面残されることになっています。

生涯学習センター長
（福原義人君）

最後に私の方から、生涯教育研究所の事業実績について説明させていただきます。

別海町生涯教育研究所では、資料の１ページから２ページにある４事業に取り組んでおります。

事業内容としては、過年度から大きな変更はありませんが、１ページ上段に掲載しております、育てよう別海町の学びの木は、学びの木カレンダーを年末に発行しＡ評価としております。

この生涯教育研究所は、幼児教育関係者、学校教育関係者、社会教育関係者が集まる本組織として、分断しがちな個々の教育段階を包括して検討できる道内でも数少ない組織であります。

そのことが、学びの木における各世代、発達段階を網羅した内容として表現されており、今後益々重要なものになるものと考えております。

以上で生涯教育研究所の説明を終わります。

以上で、議案第１号の内容説明を終わります。

教育長
（相澤要君）

ただ今、議案第１号について内容説明が終わりましたので、御質問御意見等がありましたら、お受けしたいと思います。

何かありませんでしょうか。

（「なし」の声あり）

教育長
（相澤要君）

御質問がなければ採決をさせていただきます。

議案第１号について原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

教育長
（相澤要君）

異議がないようですので、議案第１号について原案のとおり決定することといたします。

－【その他】－

それでは日程第５その他に入ります。

事務局から何かありませんでしょうか。

はい、池田課長。

学校教育課長
（池田卓也君）

学校教育課から２点報告いたします。

１点目は、報告事項でお話がありました中西別地区における小中学校の統廃合についてです。

先月６月２９日に中西別地区の学校運営協議会委員長、中西別の教育を考える実行委員会委員長、中西別小学校校長、中学校校長の４人が役場を訪れ、中西別小学校及び中学校を別海中央小学校及び中

学校へ統合の旨、町長、教育長に要望書の提出がありました。

中西別小学校及び中学校においては、適正配置計画の対象校であり、配置計画では地域において統廃合を望む意向がある場合は、統廃合に向けた協議を行うこととしています。

教育委員会においては、統廃合の意向を確認でき今後も中西別地区における児童生徒数の減少、統廃合による集団での教育の強化が見込まれることから、前向きに検討しているところです。

なお、統合の日程ですが要望では令和７年４月１日からを望んでおり、教育委員会としても令和６年度を準備期間とし、統合は令和７年４月からを目途に考えていきたいと思います。

２点目は、ビブリオバトルについてです。

教育委員会では、生きる力アッププロジェクト事業の中でビブリオバトルを開催しています。

日本語で言うと書評合戦で、児童生徒がおすすめする本をプレゼンテーションする戦いです。

７月２４日月曜日に、みなくるを会場に開催します。

午前は小学校、午後は中学校を対象に開催しますので、ぜひこの機会に足を運んでくれたらと思います。

以上です。

教育長（相澤要君）　今の説明に対しまして、委員の皆様方から何か聞きたい点ありますでしょうか。

（「なし」の声あり）

教育長（相澤要君）　その他、事務局から連絡事項ありますか。

（「なし」の声あり）

教育長（相澤要君）　それではその他、委員の皆様方から何かありますか。

（「なし」の声あり）

教育長（相澤要君）　それでは、本日予定をしておりました案件について全て終了でございます。

これをもちまして、第８回教育委員会議を閉会いたします。

皆様大変お疲れ様でした。

－【閉　会】－